

# 石川県生協連だより

**第88号**

石川県生活協同組合連合会  
 〒920-0362 金沢市古府2-189  
 コープいしかわ古府センター2F  
 TEL076-259-5962 FAX076-259-5963  
<http://ishikenren.jp>

発行日/2016年11月25日  
 発行責任者/横山 和男



「平和のたね」による「人形語り」のようす

今年のピースデイは、2年ぶりに金沢市卯辰山玉兔ヶ丘「平和の子ら」像前広場で開催し、反核・平和おろづる市民のつどい実行委員会の構成団体および一般県民、金沢市内の小学校の子ども達を含め約100名が参加しました。

石川県原爆被災者友の会の西本多美子会長による主催者挨拶ののち、各団体・

**2016  
ピースデイを開催**

●7月24日(日)  
 ●金沢市卯辰山玉兔ヶ丘  
 「平和の子ら」像前広場にて

## 平和の取り組み

個人から平和への願いを込めたお祈りが、平和の子ら像に捧げられました。続いて「被爆二世かたりつぎへ平和のたね」による「人形語り」、実行委員会の構成団体から活動報告がありました。小学6年生山本直君からはコープ

いしかわの「沖繩戦跡基地めぐり」「平和の旅広島」に参加して、沖繩における諸問題や沖繩戦、広島では被爆地の実相を学び、語り部の体験談や現地を感じた平和への想いなどを報告し参加者の共感を誘いました。最後に「でえげつさあ」による平和ミニコンサート、核兵器の廃絶を訴えるアピール文を採択しました。

**平和のパネル展**

●8月3日(水)  
 ●県庁19階展望ロビーにて

ここ10年恒例行事として県庁で「原爆と人間展」を開催してきましたが、今年から「平和のパネル展」と名称を一新して内容を充実させました。展示物は、原爆と人間パネル・絵本作家い



展示パネルに見入る小学生

わさきちひろの平和パネル・日本ユニセフ協会提供のイラク北部スーレマニアの子どものたちの絵画パネルを展示し、戦争の悲惨さ、核兵器の恐ろしさ、戦中・戦後の子ども達の想いが伝わる内容としました。初日には小学生の一行がパネルに見入っていました。会場に置いたノートには「世界が平和になりますように。世界から核兵器がなくなることを祈ります。」など平和への想いが綴られていました。

初日のオープニングセレモニーの後に、「のまりん」こと野間成之さんによる紙芝居「はだしのゲン」を上演。迫真の演技で参加者を魅了しました。

(コープいしかわ 中橋 明)

# 石川県・金沢市の防災訓練に参加

石川県生協連は石川県および金沢市と災害時における生活物資の供給・確保に関する協力協定を締結しており、協定に基づき日頃からの防災体制の強化・連携として防災訓練に参加しています。

## 第57回 石川県防災総合訓練 in 七尾に参加して

●9月4日(日)

「台風の影響もなく良い天気であったな」と、考えながら半日が始まりまして。

今回は初めて参加する防災訓練で、能登半島沖で震度6強が発生し七尾市を中心に被害が甚大であるという



矢田新埠頭で船から救援物資の受け取り

想定でした。実際には津波、余震、ライフラインの寸断などを想定しながら、救援物資を海上経由で船から受け取り、避難所に運ぶことがミッションでした。それにも関わらず、冒頭のような呑気な感想を口にしてしまったわけですが、それについても理由があります…。

実は石川県が呼び掛けて実施するこの訓練のために、救援物資輸送の部門が約4ヶ月前から全体会議3回、グループ打ち合わせ3回、個別電話での調整3回など、この半日のために準備してきました。それらを振り返って滞りなく訓練ができるということでも思わず口にしてしまった、良い天気発言、だったわけです。

これだけ平時から打ち合わせしての防災訓練ですから、災害時は救援物資を運ぶことはさらに困難だろうと思われました。

そのため、防災訓練を通じて顔が見える関係になれたことを糧に、災

害が起こった際には少なくとも訓練通りの期待には応えたいと思いました。それと、災害時は良い天気でないことが多いはず…、今から覚悟しておきたいと思います。

(コープいしかわ 上坂 義彦)

## 金沢市防災訓練

●8月28日(日)  
●金沢市松ヶ枝福祉館

中心市街地にある会場には近隣のマンションなどに住む住民が町会ごととに会場を回り、様々な体験に参加していました。

石川県生協連は金沢エコライフくらぶの協力を得て「持ち出し品なあに?」、食材のローリングストック「非常食になる保存食」などを展示



非常食になる保存食について説明しているようす

しました。中でも関心が高かったのは家具の転倒防止を再現するドールハウスの展示で、熊本地震の報道を受けてどこで器具を購入できるかといった質問が寄せられました。

(生協連 青海 万里子)

## 役職員研修会に参加して

●7月27日(水)  
●石川県地場産業振興センター



講師の宮部氏

日本生協連 総合運営本部の宮部好広部長を講師にお迎えし「生協

における役員の職務と責任」についての研修会に参加しました。

研修内容は、ICA声明と生協法からスタートし、模範定款、総代会、理事会の機関運営と続き、最後は事例を交えて役員の役割と責任の解説で締めくくる内容でした。講師の宮部さんは、穏やかな口調と専門的な説明で、まさに「ミスター生協!」



プラバンキーホルダー作りのようす

### プラスチック弁当容器の蓋でプラバンキーホルダー作り

●8月27日(土)、28日(日) いしかわ環境フェア

石川県産業展示館4号館にて「いしかわ環境フェア」が開催され、石川県生協連も参加をしました。会員の環境に関わる取り組みの展示として、コープ北陸からは「サングの植え付け活動」、コープい

異次元の講師さんでした。加えて、付箋がびっしりの法令ハンドブックは「生協法の番人」の証でした。職域生協ならではの問題として総代会、理事会の参加率や運営な

(学校生協 折戸 正英)

しかわからは「のともゆるスマイルプロジェクト」、金沢大学生協からは「デポジットの弁当容器」の取り組みを紹介しました。出展ブースでは、展示のほかに小さなお子さんも楽しめるワークショップを行いました。今年プラスチック弁当容器の蓋で作れるプラバンキーホルダー作りを実施し、参加されることなく多くのご家族が参加してくださいました。プラスチック弁当容器には様々な種類がありますが、素材が「PS」マークならプラバン作りに使用することができます。オーブントースターがあれば家庭でも作ることができます。エコで経済的な遊びとして楽しんでいただくことができました。

(金沢大学生協 井上 恵里)

## 消費者支援ネットワークいしかわの活動

### 消費生活に関する情報満載 「消費者力アップセミナー」開催

●9月2日(金)から全5回 石川県消費生活支援センター



県警による県内の特殊詐欺の説明(第4回)

契約や消費トラブルなど消費生活に関する情報は日々変化しています。今年の「消費者力アップセミナー」は食生活、衣生活、住生活、契約・悪質商法等、経済生活を5回に分けてさまざまな角度・内容から多彩な講師をお迎えして開催しました。

今回は興味のあるテーマのみの参加もできるように企画しましたが、毎回出席の方が多く、セミナーや実習、ワークショップを通して「え〜」「ほ〜」と声が上がるといさよまざまなこと

を知る機会になりました。

参加者からは、「知っているようで知らないことが多いことに気がついた」「各々の講座においてさまざまな事例を上げながらの講座だったので、とてもわかりやすく理解できた」などの意見が寄せられ、大変好評でした。セミナーを通して参加者、また周りの方にも情報伝達することによって、消費生活について考える機会になればと思います。

(消費者支援ネットワークいしかわ 笹谷 悦子)



新洗濯表示、染み抜きについて学ぶ参加者(第2回)